

【気象・海況】 沖合水波及・赤潮気味 → やや海況悪化

- 気象 向こう1か月の気温は、平年「並み」。
- 水温 1/23 から沖合水が強く波及し、新富津観測ブイは10.0℃台から16℃台に急上昇 (図1)。富津岬以北では影響が少なく、千葉北部は8℃前後、木更津地区は9℃前後、富津漁協は10℃前後まで低下。
- 栄養塩 木更津以北の漁場は植物プランクトンの増加によってリンが減少 (表1)。富津岬以南では沖合水の波及によって窒素が減少。
- 沖合水 沖合水の波及は1/23 から現在 (2/2) まで継続中。今後、1~2週間は継続する見込み。

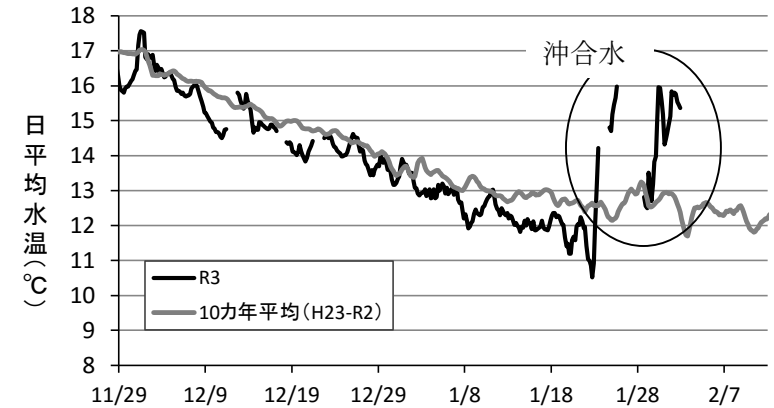


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

【今後の留意点】 栄養塩の動向

○沖合水の影響

・ クロダイ食害の再活性化

沖合水が波及して水温が上昇した漁場では、収束傾向であったクロダイの食害が再び強くなっています。

→ 引き続き、『防除ネットでクロダイの侵入を防ぐ！！』対策を行ってください。

・ 栄養塩の減少

2/1に新富津~大佐和のノリ漁場内9カ所(沖~高側まで全域)で沖合水の影響を調査(上げ潮)しました。

窒素は74~95 μg/L (平均84)、リンは10-11 μg/L (平均10)で、地点間の差はあまりなく、全域に沖合水の波及がありました。しかし、ノリの色調等への影響は、窒素が基準値(100 μg/L)よりやや低いものの、直ちに大きな影響はないレベルでした。

表1 水質観測結果(2/1) 基準値 窒素 100, リン 10

(μg/L)	船橋	木更津	富津 (沖ベタ)	新富津 (1海ほ下)	大佐和 (大貫沖)
窒素	337	345	364	144	82
リン	4	9	21	13	10